

「北九州マラソン2014」でのボランティア活動

2月9日に福岡県北九州市(当社本社所在地)で初のフルマラソンとなる「北九州マラソン2014」が開催されました。この大会は北九州市制50周年のフィナーレを飾る記念イベントです。当日はあいにくの雨湿じりの天候でしたが、ランナー1万1千人、沿道の応援者28万人が一体となれるすばらしい大会となりました。

当社は本大会の開催趣旨に賛同し、メインスポンサーとして協賛するとともに、160名を超える従業員およびその家族がボランティアに参加しました。ランナーに大きなエネルギーを送るよう、沿道からの声援や給水などの支援を行いました。ランナーから「ありがとう!」、「いただきます!」といった声をかけていただくと、一層力が入りました。

また、フィニッシュ地点にあるEXPO会場では、ソフトクリームをつくるみんなの最先端ロボット「やすかわくん」や、当社陸上部で世界陸上モスクワ大会5位入賞の中本選手のユニフォームなどを展示し大会を盛り上げました。

マラソンには当社陸上部をはじめ数多くの従業員が参加し、陸上部の立石選手が優勝しました。また、中本選手もペアマラソンの部にゲストランナーとして参加、沿道の注目を集めました。

当社はこの大会で深めた地域との一体感を2015年に迎える「創立100周年」につなげていくとともに、今後さらなる地域貢献活動に取り組んでいきます。



■ お問い合わせ先
 人事総務部
 TEL: 093-645-8801
 FAX: 093-631-8837

陸上部 NEWS

<http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>

チームとして最も重要視する駅伝シーズンを終えました。当社としては非常に厳しい結果となりました。

ニューイヤー駅伝の九州地区予選となる九州実業団毎日駅伝が11月23日に開催されました。選手の仕上がりが遅れたことや、外国人選手が出場できなかったことがあり、ベテラン選手に頼るオーダーとなりました。1黒木文太選手は区間賞争いをするほどの好走をしたのですが、2区で勢いに乗れずに、6位まで大きく順位を下げてしまいました。その後、ベテラン選手達も必死に前を追う走りでしたが、上位を走るチームは調子が良く、6、7位争いに終始。結果として6位という順位での予選突破でした。

年が明けての元旦、ニューイヤー駅伝本番には全国の地区予選を突破した37チームが群馬県に集まりました。この大会でも1区黒木選手は先頭が見えるくらいのタイム差で走ったものの、2区で36位まで順位を大きく落とし、その後の選手が前を追いかけるには難しい孤立した走りを強いられました。最長4区を任された中本健太郎選手は区間11位と好走しましたが、それでも順位を大きく押し上げるには至りません。それでも、5区立石慎士選手、6区小畑昌之選手、7区久保田大貴選手が少しずつ順位を追い上げ、何とか24位まで到達できました。

チームが駅伝で上位入賞を果たすためには、前半から先頭が見える位置でタスキを繋ぐことが重要ですが、そのためには選手個々のシーズンを通しての安定した走力が課題となってきます。

このためにはマラソンを安定して走れる力が必要です。駅伝でマラソンを走るためのスピードを身に付け、マラソンで駅伝を確実に走れるだけの精神面と安定性を養成する必要があります。このためにも、2、3月には4名の選手がマラソンに、1名がマラソンを見据えた30キロロードレースに出場します。

また、将来を見据えた若い選手の育成も急がれるところです。既に次のシーズンに向けた取り組みは始まっていますので、今後とも応援をお願いします。



ニューイヤー駅伝6区で区間6位と好走した小畑選手

◆ 2013年11月～2014年1月の主な戦績

日程	大会名	実績
11月23日	九州実業団毎日駅伝	6位
1月1日	ニューイヤー駅伝	24位
1月19日	全国都道府県対抗男子駅伝	黒木選手7区を区間15位(福岡県8位)、久保田選手7区を区間8位(熊本県15位)